

船の事故	発生日	発生日	発生県	船の種類	事故形態
	10月3日(月)	10月3日(月)	長崎県	漁船	衝突
	10月3日(月)	10月3日(月)	長崎県	プレジャーボート	衝突
	10月4日(火)	10月4日(火)	福岡県	作業船	運航不能
	10月6日(木)	10月6日(木)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
	10月6日(木)	10月6日(木)	山口県	プレジャーボート	乗揚
	10月6日(木)	10月6日(木)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
	10月6日(木)	10月6日(木)	福岡県	貨物船	単独衝突
	10月7日(金)	10月7日(金)	福岡県	漁船	その他
	10月8日(土)	10月8日(土)	佐賀県	漁船	衝突
10月8日(土)	10月8日(土)	佐賀県	貨物船	衝突	

人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	10月6日(木)	福岡県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	病気
	10月6日(木)	福岡県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	病気
	10月6日(木)	長崎県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	負傷
	10月7日(金)	山口県	マリレに伴う海浜事故	海中転落
10月7日(金)	山口県	マリレに伴う海浜事故	海中転落	

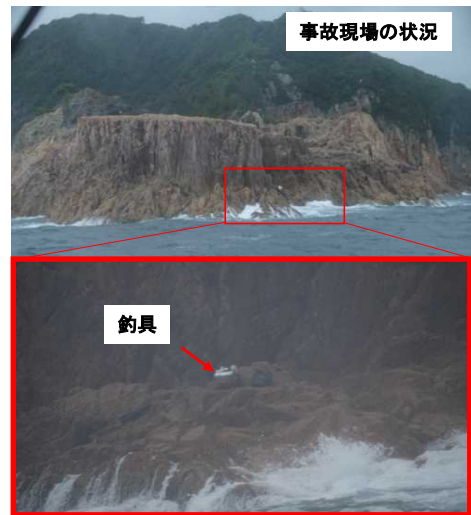
生死の分かれ目！ 救命胴衣の着用の有無

【問合せ先】
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
TEL：093-321-2931（内線2640）

【事故事例】

事故者A、Bの二名は、令和4年10月7日06:00頃、磯場で釣りを開始したものであるが、約10分経過した頃、突然の大波に襲われ、事故者Aが海中転落した。このため、事故者Bは直ぐにロープを投げ入れ、Aを救助していたところ、再び大波に襲われ、救助中のBも海中転落し、両名とも海上を漂流する事態となった。その際、Aは救命胴衣を着用していたが、Bは救命胴衣を着用していなかったことから、Aは、身に付けていた防水バック入り携帯電話で118番通報するとともに、Bの身体を確保し救助を待っていたが、波に揉まれるうちに、Bと離れてしまい、そのまま見失った。

同日08:25頃、Aは救命胴衣により漂流しているところを捜索中の水難救済会所属の船舶により救助され、一命をとりとめたが、救命胴衣未着用のBは、懸命な捜索にもかかわらず、現在まで行方不明のままである。



◆釣りを安全に楽しむために

・装備は重要！安全を確保しましょう！

ライフジャケット、滑り止め効果の高い靴等必要な装備を装着しましょう。夜釣りの場合は、足元を確認するため懐中電灯等を必ず持参しましょう。

また、磯釣等で足場が悪い場合は、自己救命策のほか足場の確保を徹底し自身の安全を守りましょう。



・周囲の環境、一発大波に注意！

釣りに没頭することなく、波や風の状態を常に確認しましょう。また、波の高さは一定ではありません。100波に1波は1.5倍近い高波が発生しますので、注意が必要です。準備中、釣り中、片付け中も周りの状況や足元に注意して釣りを楽しみましょう。

・もしも海中転落してしまったら

水中では、大気中よりも25倍も早く体温が奪われていきます。水中で身体を動かすと体温低下が促進します。また、頭部は放熱の速度が速いため、救助を待つ間、右の図のような体温を逃がさない姿勢(HELP姿勢)を取ることが推奨されていますが、救命胴衣を着用していなければ浮力が確保されず体勢の確保が困難となります。

・HELP姿勢
(Heat Escape Lessening Posture)

Help me !!



詳しくは、HP「ウォーターセーフティガイド(釣り編)」をご確認ください。
URL <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/fishing/index.html>

